

平成30年10月10日
九州地方整備局
長崎港湾・空港整備事務所
長崎県土木部港湾課

「長崎港松が枝国際クルーズ船岸壁」が使いやすくなりました。

長崎港松が枝国際クルーズ船岸壁改良工事完了に伴い、大型クルーズ船の係船時の安全性が向上し、使いやすい岸壁となりました。

大型国際クルーズ船を受入れる長崎港松が枝国際クルーズ岸壁は、直轄事業による岸壁改良工事が完了し、岸壁延長を360mから381mに延伸するとともに、係留ドルフィンを新設しました。

改良工事の前は、16万トン級のクワンタム・オブ・ザ・シーズ（長さ348m）等の大型クルーズ船が係船した場合、ヘッド・ライン（船舶の船首部から岸壁前方にとる係船策）及びスターン・ライン（船舶の船尾部から岸壁後方にとる係船策）をとる係船柱がそれぞれ1個所しかありませんでした。

岸壁改良工事を実施したことにより、ヘッド・ラインをとる係船柱が2個所、スターン・ラインをとる係船柱が2個所となり、複数方向のヘッド・ライン、スターン・ラインを使用することが可能となり、係船時の安全性が向上します。

10月12日に長崎港に入港するノルウエージャン・ジョイ（16万トン）が新設係留ドルフィンを利用して係船する最初の大型クルーズ船となります。

本岸壁の改良工事により、国際クルーズ船観光市場における長崎港の競争力向上に大いに寄与するものと期待されます。

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局

長崎港湾・空港整備事務所 工務課

児島 正明（こじま まさあき）

村上 和之（むらかみ かずゆき）

Tel:095-878-5175（代表）

Tel:095-878-5176（直通）

Fax:095-834-5437

長崎県 土木部港湾課

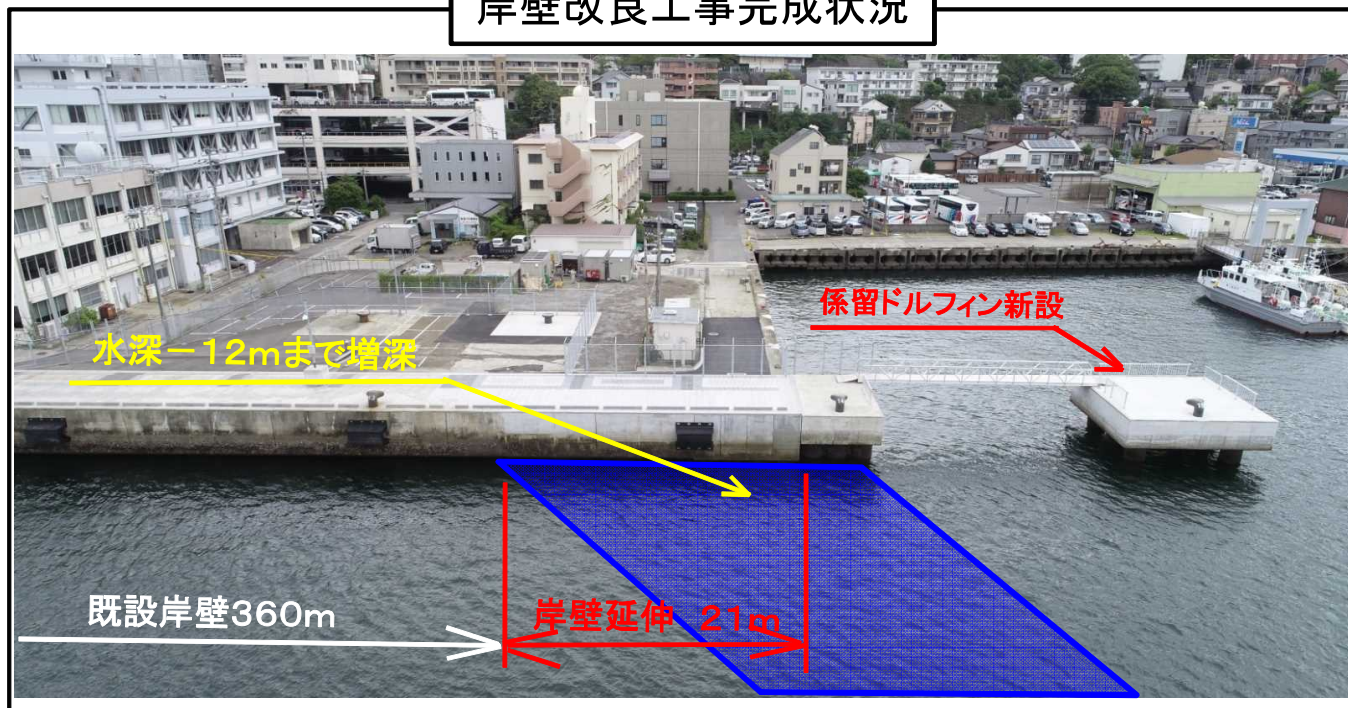
本多 健一（ほんだ けんいち）

松本 伸彦（まつもと のぶひこ）

Tel:095-824-3625（直通）

Fax:095-821-9246

岸壁改良工事完成状況



整備効果：係留方法の違い

